IMA風 UNIFORM NEWS Vol.2

2012年 秋号
発行所：一村産業株式会社 衣料第2グループ
大阪本社：大阪市中央区瓦町2-5-4 第2チーム TEL(06)6229-6318
東京支店：東京都中央区日本橋小伝馬町14-4 第3チーム TEL(03)3661-1131

① IMA GLOBAL 情報
② マーケット情報/IMAのつぶやき
③ 特集 第2回
「環境配慮型分解ポリエステル繊維 エコフィス®」
④ IMAがこだわるMONO創り

IMA® ICHIMURA

WHAT IS IMA? ～IMA®は一村産業(株)の商標です。～

一村産業は、環境にやさしいテキスタイルと産業資材の商社です。
付加価値の高い新しい素材を世界へ発信するコンバーター。
東レグループの有力メンバーとして「環境との共生をビジネスチャンスととらえ、
今後ますます期待される環境マーケットへ、積極的にチャレンジしています。

テキスタイル事業の基幹であるユニフォームチームは、大阪・東京に販売の拠点を置き、上海・インドネシアとの連携を強化しながら、グローバルな展開を構築しています。
このNEWSがユニフォームに関わる全てのお客様とのコミュニケーションの一端になれればと思っています。

衣料事業部門 部門長
藤原　篤

「IMAから絆に!」(今から絆に)

日頃より、一村産業のユニフォーム素材をご愛顧いただき、厚く御礼申し上げます。

一村産業では、蓄積された商品企画力とKnow Howを活かし、日本国内をはじめ、中国・インドネシア・タイなど国内外の優れた技術を持つ協力工場(糸加工、織布、編立、染色、仕上げ)と強固なGlobal生産網を構築しています。
お客様のご要望にいち早く対応し、高品質・高感度・高機能且つリーズナブルプライスな商品群を安定的に生産・販売するために、この強固なGlobal生産網を最大限に活用し、お客様の事業に貢献していくことが使命と考えております。

今年の我々モノづくりのテーマは「IMA TEX-PARADISE 14」としました。
ユニフォームの原点である素材を糸から進化させ、魅力的で楽しいテキスタイルを皆様に提供したい。そんな想いで14商品ブランドを作り上げ、ご提供してまいります。
高機能糸の活用による進化した合繊素材や天然繊維混素材、更には、昨年より紹介しております環境配慮型分解ポリエステル繊維「Eco Face」をはじめとする環境配慮型商品群の幅広い展開、縫製品対応などにより、様々なお客様のご要望にお応えしてまいります。

安定した品位・品質の確保、定番商品群の確実な納期対応、新鮮なブランド発信。
この3点を行い続けることで、今後とも益々皆様のお役にたてる一村産業を目指してまいります。

皆様引き続きのご愛顧とご指導を宜しくお願い申し上げます。

会社概要

会社名　一村産業株式会社
ICHIMURA SANGYO CO.,LTD.

資本金　10億円(発行済株式総数200万株・額面500円)

設立　1979年(昭和54年)1月22日

沿革
- 1894年(明治27年)　一村吉松の生糸羽二重商個人創業に始まる
- 1920年(大正 9年)4月　一村商事(株)設立
- 1944年(昭和19年)1月　一村産業(株)と改称
- 1979年(昭和54年)1月　新会社アイ・エム・エー産業(株)設立
- 1979年(昭和54年)3月　アイ・エム・エー産業(株)が旧一村産業(株)より、商号および営業権を譲り受け、新一村産業(株)として営業開始

事業内容
衣料事業
1. 合繊繊維の糸・織物・編物の自主生産・自主販売
2. 〃　仕入・加工販売
3. 〃　受託加工品生産販売

産業資材事業
1. ポリスチレンフォームの成型加工販売(成型品・建材)
2. 包装関連資材等の仕入販売
3. スーパー繊維(炭素繊維・アラミド繊維物等)の生産・成型加工販売

売上高　16,993百万円(2012年(平成24年)3月期)

営業分野別売上高構成比　衣料 11,444百万円(67.3%)　産業資材 5,549百万円(32.7%)

決算期　3月・年1回

株主　東レ85%、北國銀行・日本トラスティ・サービス信託銀行 各5%、三井住友銀行・みずほ銀行 各2.5%(以上5名)

役員

代表取締役社長	石井銀二郎	
専務取締役	藤井　寛三	一村グループCF事業統括
常務取締役	藤原　篤	衣料事業部門長、中国・ASEANプロジェクト推進室リーダー、大阪本社担当
取締役	倉持　修祥	管理本部長、V-Conプロジェクトリーダー
取締役	矢木　猛	衣料事業部門副部門長、衣料第3グループマネージャー、中国・ASEANプロジェクト推進室サブリーダー、本店担当
取締役	大島　秀樹	産業資材事業部門長、化成品営業1部長
常勤監査役	三好　孝一	
監査役	広崎　邦夫	
監査役	福田　雄二	

従業員数　108名

一村産業(株)は、東日本大震災からの1日も早い復興をお祈りします。

愛 美 衣（上海）便り

総経理
竹内　弘二

一村（上海）貿易有限公司（以下 一村上海）は2004年に設立され、以来一貫して中国における真のTEXTILE CONVERTERを目指し、現在に至ります。

扱う商品用途は、UNIFORM、CASUAL、SPORTS、生活資材等、様々ですが一村上海が最も注力している用途は、差別化糸軸からの織・編み展開を有効に活用できるUNIFORM用途です。
あらゆる職場環境で快適な機能を求められる今、糸からの差別化を図り、ひとつひとつの機能を最大限に高め、防透け・吸汗速乾・STRETCH等、お客様のご要望にお応えできる機能を付加したモノ作りに日々邁進しております。

一村上海のもうひとつの特徴は、品質管理において自社で検反機を保有している点です。
染める前に長年蓄積された、知見と経験をもとに、日本で研修を積んだ熟練の検査員が、生機検査を自社で行い、安心・安全な生機のみを染めることで、お客様の求める高品質な商品を安定してご提供させて頂いています。

今後、更に加速し充実を図る連携としては、中国で各地に広がる一村上海の協力工場以外にINDONESIA事務所との海外連携を一層強化し、中国＋ASEANにおいて差別化糸軸からのモノ作りに磨きをかけていく所存です。

また、一村上海のCORPORATE BRANDである〈**愛美衣**〉は、お客様から愛される美しい衣料を提供したいという一心から名付けました。
①品質 ②PRICE ③納期の3原則を遵守し、〈**愛美衣**〉がお客様のお役に立てるよう努力して参ります。

一村（上海）貿易有限公司が皆様と深い絆を築けるよう、皆様のご愛顧とご指導を宜しくお願いいたします。

北陸便り→創和テキスタイル(株)拠点再編

IMAユニフォームの生産拠点である創和テキスタイル（株）の羽咋工場と野々市工場が合併しました

設　　立　2004年1月1日丸和織物・東和織物（石川）合併
創和テキスタイル株式会社設立

所 在 地　〒925-0623 石川県羽咋市本江町ヌ部8番地

代 表 者　代表取締役社長 **藤井　寛三**

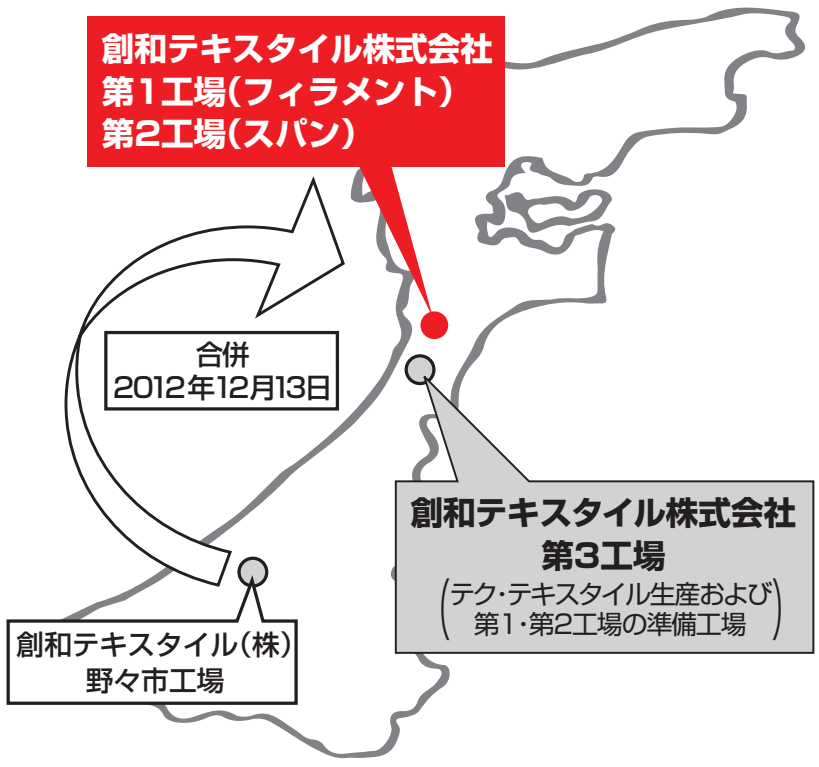
資 本 金　1億円〈株主構成〉
一村産業 49.98%　東　レ 13.25%
丸一繊維 13.21%　三交社 1.04%　自　社 22.52%

事業規模　2011年度実績
合繊織物製造（97%）　炭素繊維織物製造（3%）
売上高4,729百万円　売上高154百万円

生産能力　2011年度
本社 羽咋工場　42,000疋/月 織機設備台数（AJL158台　WJL183台）
野 々 市 工 場　13,000疋/月 織機設備台数（AJL108台）
2012年移設後
第1工場（旧羽咋工場）42,000疋/月 織機設備台数（AJL158台　WJL183台）
第2工場（旧野々市工場）10,800疋/月 織機設備台数（AJL90台）
＊合繊中厚地織物では、国内最大生産能力

売 上 高　4,883百万円/年（内 収入工賃 2,528百万円/年）

従 業 員　217名（男子136名、女子81名）



《IMAのつぶやき》　ユニフォームの森の多様性を語る

取組用途に喝

1 オフィスウェアの現状は

- 節電意識が高まり、高機能素材に対するニーズが増加したもののスーパークールビズ対応商品は予想ほど伸びなかったのではないか？
- 従来の定番に加えて、新素材の投入、拡充により堅調な動きをしているといえる。
- IMAは、フルダル 綿混 交織 ブラウスにて市場参入してきたが、今年はこれらに加えて3タイプの機能商品を上市した。

2 ワーキングウェアの現状は

- 昨年から活況であったワーキングウェアだが、今年に入り状況は一変した。
  備蓄型アパレルの生産調整に入ったことで素材メーカーの受注量も激減。
  また、最終顧客ベースでも円高不況による製造業の海外移転がこれから影響してくる可能性がある。
  これに伴い当社も新たな取り組みを考える必要が高まる。
- アパレル各社新商品に関しては、よりコストパフォーマンスを見せる為、ASEAN地区での縫製が目立ってきており、当社も更なるコストダウンを図るとともに、差別化商品の「味付け開発」を実行していきたい。

3 サービスウェアの現状は

- カタログ定番商品よりも別注ユニフォームでの引き合いが増加。定番商品ではなく、最終顧客のコーポレートイメージを出した商品が増加している。
- 当社は、「定番天気予報」による定番の浸透販売を強化するとともに差別化機能商品の提案から販売までのスピードアップを図る。
- 「急ぐものはもっと急げ!」という生産体制の維持向上に努める。

4 白衣（食品・病院）ウェアの現状は

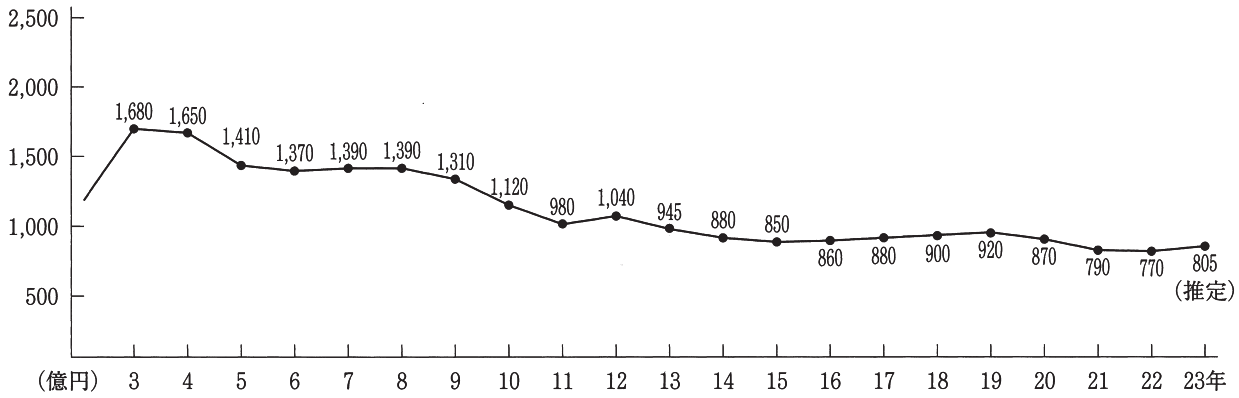
- 食品分野は、夏以降にややブレーキがかかっている模様。
  新商品で需要を掘り起こしていきたい。
  IMAが掲げる来期の重点分野です。
- 医療分野は、昨年に引き続き好調。
  人気の「スクラブ」開発で新規参入、競争激化。
  ニットの強化、調温機能で商品特化、耐工業洗濯への配慮など、課題も多く夢は広がる。IMAは、この分野において「10年の樹」を創りたい。

《IMAのつぶやき》

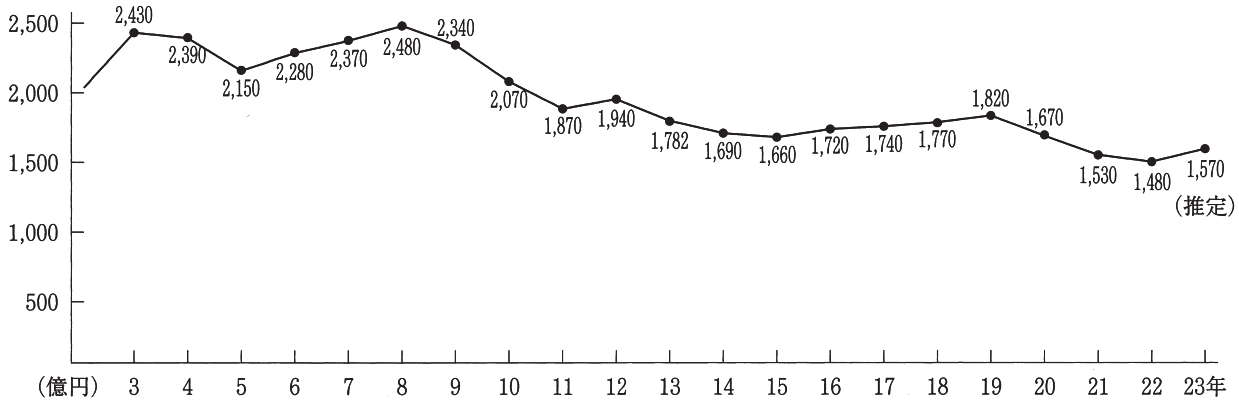
2011年マーケット規模は推定4,905億円

～リーマンショック前の95%回復、前年比104%～

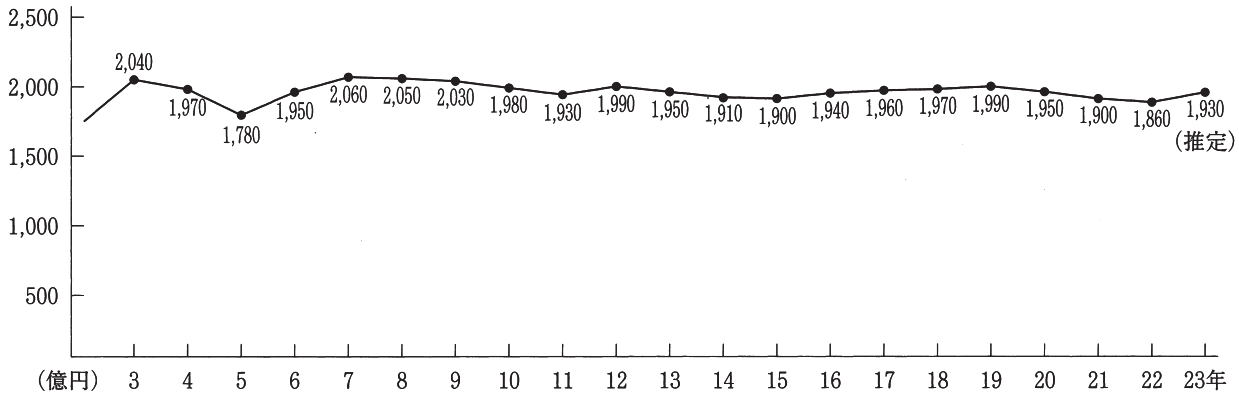
(1)女子ユニフォーム・マーケット規模(企業納入ベース)



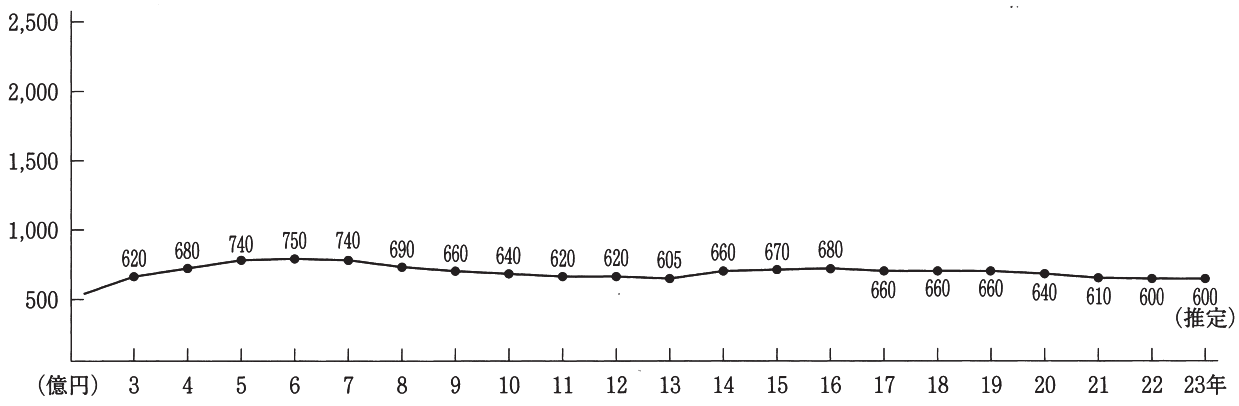
(2)男子ワーキングウェア・マーケット規模(企業納入ベース)



(3)白衣・サービスウェア・マーケット規模(企業納入ベース)



(4)官公庁制服・マーケット規模(企業納入ベース)



※グラフは、ユニフォーム企画調査会 発行「2012年度版 ユニフォーム年鑑」より

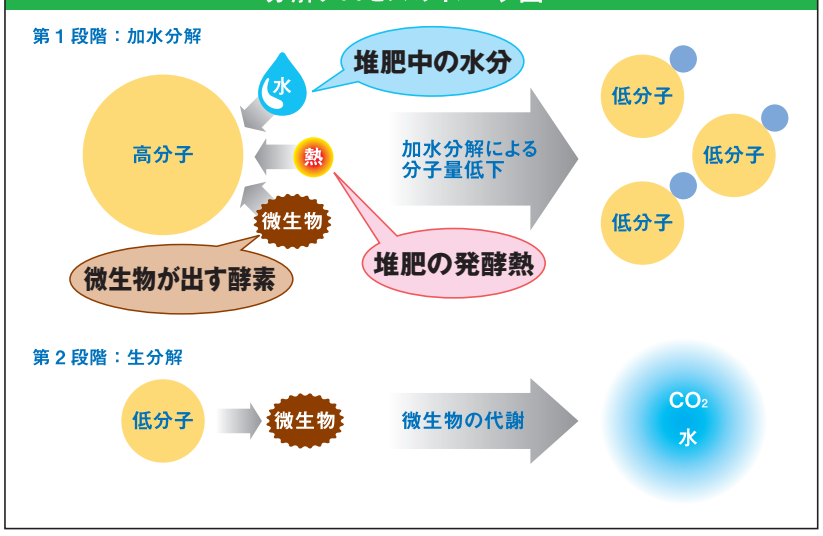
特集 《第2回》環境配慮型分解ポリエステル繊維「エコフェイス®」

第2回は「エコフェイス®」の「環境配慮型分解」についてご紹介します。

【「環境配慮型分解」とは?】

「エコフェイス®」は、「特定条件の堆肥」中で水と二酸化炭素に分解されます。分解の過程は2段階で、第一段階は「加水分解」による低分子化、第二段階は微生物の代謝による「生分解」です。

分解プロセスのイメージ図



【なぜ「生分解」と表現しない?】

日本バイオプラスティック協会（JBPA）の「生分解性規格」で「ISO14855実験で180日以内に、検体を構成する炭素のうち60%以上がCO2に生分解されるもの」と定められています。

残念ながら「エコフェイス®」の原料である「アペクサ」樹脂は、強度を実用可能なレベルに高めた為に、CERI（※1）でのISO14855実験では437日で60.7%でした。

よって、分解速度の誤解をされない為に「環境配慮型分解」と呼称しています。

牛糞と藁（わら）で作った堆肥に埋設して実験

埋設

【どんな堆肥で分解するか】

前述のISOの実験では、437日という長い期間が掛かりましたが、実際の分解処理施設の「特定条件の堆肥」中で生地の実験では3ヶ月～6ヶ月で分解されました。

下の表は分解実験の結果をまとめたものです。

「特定条件の堆肥」とは表中の「分解に適した堆肥条件」のような堆肥です。「特定条件の堆肥」中での自然に近い状態の分解、これが「環境配慮型分解」です。

残念ながら、土、畑、森林、水中などでは、分解性は保証できませんのでご理解下さい。

下に実験の様子の写真をご紹介します。

ピンク：通常のポリエステル
白　：エコフェイス
の分解比較をしました。

（ファスナーもスライダー・留金以外はエコフェイスです）

通常のポリエステルはほとんど変化しませんでした。

初期

77日後

エコフェイスは簡単に破れます。

109日後

ファスナーも生地もボロボロです。

154日後

ファスナーも生地も粉々です。

202日後

破片が少し見つかりました。

	試験場所	堆肥条件概略					生分解度(A)または分子量低下率(B)%		
		主材料	副資材	水分率	pH条件	温度 発酵による 自家発熱	試験期間	「エコフェイス®」生地	APEXA®樹脂
樹脂の分解実験条件	CERI ISO14855	鶏糞	海砂	55～50%	規定9～7 実際8.1～7.5	60～56℃	437日		60.7%(A)
生地の分解実験条件	愛知県	牛糞	おが屑	56～68%	8.9～8.0	77～36℃	3か月	81%(B)	
	栃木県	豚糞	もみ殻	60～50%	8	61～57℃	3か月	53%(B)	
標準的な堆肥条件	標準 （文献値）	牛糞, 豚糞,鶏糞	おが屑・ もみ殻	72%以下 65%以下	5以上 10～8で効果最大	75～30℃			
分解に適した堆肥条件		牛糞,	おが屑・ もみ殻	72%以下	10～8	75～30℃			

※1 CERI：
（財）化学物質評価研究機構

「樹脂の分解実験条件」のISO14855の実験は、装置内の実験の為、実際の堆肥場の作業条件とは異なります。また、「生地の分解実験条件」でも場所や条件によって分解の速度は異なります。よって、分解の速度を保つ為に堆肥場の条件を最適化する必要がありますが、特に何か混入するのではなく、管理条件を調整することで対応しています。上表のように「分解に適した堆肥条件」と「標準的な堆肥条件」とはほぼ同じ条件です。

第3回「回収・分解処理システム」に続く

IMAがこだわるMONO創り

第5回 東京ユニフォーム展 報告
2012年10月18日(木)～10月19日(金)

2012年10月18日 東京ユニフォーム展より

2012年10月18日 東京ユニフォーム展より

1. 開催場所　中央区日本橋富沢町/綿商会館6F

2. 出品点数　14ブランド、製品86点、生地160点

3. 入場者数　110社　330名

4. 内容報告

①東西の生地チームと上海のチームが連動して提案。国内チームは、人気ブランドの会話を大切にしながら、どれが感染能力のあるブランドか、今後の仕掛けを考慮しながらの活発な商談ができました。また、上海チームは、ブースを作って個別商談が充実していました。そして縫製一環のお手伝いとして、縫製事業室も加わり。「IMAユニフォーム」の総合力を発揮できる場であったと思います。

②「エコフェイス事業」が本格的に始動。ブース内容は昨年より格段に充実しました。
環境配慮型分解ポリエステルこそ次代のポリエステルです。

③「IMA物性基準」を発表。
特に工業洗濯トラブルに配慮した物性基準にスポットを当てて「安心」をアピールしました。
真のパートナーとして信頼される「IMAユニフォーム」の「大きな森づくり」を目指します。

IMAのお天気予報

IMAでは、SEGMENT別（素材別）に定番商品の動向をホームページにて公開しています。
IMA品番は、これから**ひとり歩き**します!!

ユニフォーム素材の在庫状況を天気マークで表示 ホームページで公開

SEGMENT別　*お天気POSITION(P100%)*

	品番	当月	11月～12月	お天気解説	お客様COMMENT
1	7958 マット	雨	晴	ドシャブリですが、11月より回復	
2	7010 制電マット	晴	晴	秋晴れが続きそう	
3	CH905 ストレッチワイル	雨	晴	緩やかに回復します	
4	MT1062 ワイル	曇	晴	どんより空から一気に回復	
5	SE444 ツイル	晴	晴	10月前半より快晴続き	
6	SE3800 ツイル	晴	晴	快晴です	
7	A1101 ツイル	晴	晴	9月からゆるやかに回復、秋口快晴	
8	SE6167 ベビーツイル	晴	晴	9月後半より、一気に晴れ渡る	
9	MT1930防来 ツイル	晴	晴	新定番です！　快晴続き	
10	Y1285 フルダルツイル	晴	曇	秋雨前線通過	
11	MT1801 ネオエスター	曇	雨	次第に崩れます	

一村産業は、ホームページでユニフォーム素材の直近3ヶ月の在庫状況を天気予報のマークで公表している。今春から取引先の商社や問屋に印刷物を渡していたが、ホームページで公開することで需給バランスを安定させる。
同社の「セグメント別お天気ポジション」は品番ごとに公開月と直近の2ヶ月の在庫状況を【晴れ】（在庫潤沢）、【曇り】（適正バランス、100反程度が目安）、【雲と傘マーク】（僅少、見本対応可）、【雨】（マイナスバランス、デリバリー危険）、【雷雨】（大きなマイナスバランス、対応不可）の5種で表している。「土砂降りだが11月より回復」「新定番 快晴続き」など、天気マークに添えられた解説も見やすい。
今月16日現在ではポリエステル100％素材はおおむね「秋晴れ」だが、交織・ブラウス用素材は崩れ気味「回復見込みなし」「どんより曇空」など思わしくない。「一昨年はメーカーが生産調整を行っていたところ受注が減らず在庫不足が起きた。昨年はタイの洪水と、ユニフォームの素材供給は予想外の影響が続いている。在庫状況を随時公表することで業務を円滑にさせたい」と衣料第2グループ。
併せて海外素材の直接調達や中国、国内工場を活用し、生産体制の安定に努める。

（2012年10月23日 繊維ニュースより）

MONO創り感動4コマまんが

作：仁王 裕貴
絵：藤谷 由香里

IMA® ICHIMURA

IMA風 UNIFORM NEWS vol.2
2012年11月27日発行
■一村産業(株) ホームページアドレス
http://www.ima-ichimura.jp/